



お客様使用実例 No.5

- 使用機器 コムコ社製 (NCベンダー)
- 使用ポンプ ダイキン製 ローターパック
- ポンプ圧 7MPa
- タンク油量 20Lタンク
- 対象品目 他社油(VG 32) → SUNTAC WR 32 へ切替
- テスト期間 2011年8月～2011年11月、3ヶ月間
- 漏れ変化 月間4Lの漏れ → 月間1Lへ減少

需要家様は愛知県でパイプ加工を専門にしておられる会社で、NCベンダーを用いて3次元曲げ加工、特殊な極小R曲げ加工等、パイプ部品の開発から試作、そして量産を行っておられます。

この度、該社がお困りになされていた油圧作動油の漏洩に関して対策を講じた、お客様使用実例をご紹介します。

ISO14001取得工場ならではの悩み

同社では環境マネジメントシステムであるISO14001を導入、オイルの納入数量、そして排出量を厳しく管理しておられます。そのためになかなかオイル漏れでも問題となり、保全部署ではその対策、改善が強く求められていました。

漏洩防止型油圧作動油の使用

しかしなかなかオイル漏れを減らすのは簡単ではありません。パッキンを交換するにしても漏れている箇所の判別が難しく、パッキンを交換するとなると機械を完全に止めて、技術者に出張を依頼しなければなりません。そんな時、当社の「SUNTAC WR 32」を知り、ご使用頂くことになりました。

油漏れが減少した！！

結果、「SUNTAC WR 32」の使用を開始して3ヶ月、テスト的に使用していた機械のオイル漏れが四分の一にまで減少しました。

W課長：「実績が出てうれしいです。近々来年の取り組みの発表があるのですが、このオイルを使用しているオイル漏洩減少というネタが出来ました。社長のOKが出れば、全工場で使用します」

漏洩防止に至った経緯としては、SUNTAC WR 32を使用することによって使用機器のシール材(パッキン)を適正膨潤化させ、ゴムの硬化・収縮を抑えられたと思われます。また配合された粘着付与剤が機械連結部の密閉性を高めた効果も大きく、漏洩防止に貢献しました。今後も日本サン石油はお客様からの評価データを蓄積し、製品性能の更なる改善を訴求し、環境に対応したもののづくりを継続致します。